

様式4

プロポーザル方式における特定結果書

- 1 業務名 令和7年度手取川・梯川河川環境管理検討業務
 2 所属事務所 金沢河川国道事務所
 3 方式 簡易公募型プロポーザル方式
 4 技術提案書の提出要請日または選定通知日 令和7年8月28日
 5 公示日 令和7年8月6日
 6 特定通知日 令和7年10月2日

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(株)オリエンタルコンサルタンツ	×	貴社については、評価項目のうち、「業務の実施方針・実施フロー等」「評価テーマに関する技術提案」の的確性・実現性・独創性において、他社が優位であると判断したため、非特定とした。
いであ(株)	×	貴社については、評価項目のうち、「業務の実施方針・実施フロー等」「評価テーマに関する技術提案」の的確性・実現性・独創性において、他社が優位であると判断したため、非特定とした。
パシフィックコンサルタンツ(株)	×	貴社については、評価項目のうち、「業務の実施方針・実施フロー等」「評価テーマに関する技術提案」の的確性・実現性において、他社が優位であると判断したため、非特定とした。
(株)国土開発センター	○	
(株)建設技術研究所	×	貴社については、評価項目のうち、「業務の実施方針・実施フロー等」「評価テーマに関する技術提案」の的確性・実現性・独創性において、他社が優位であると判断したため、非特定とした。

- (備考) 1 「特定されなかった理由」の欄には、非特定通知書と同様の内容を記載する。
 2 「特定の有無」の欄には、特定された場合には「○」と記載し、特定されなかった場合には「×」と記載すること。
 3 標準プロポーザルの場合は「3 公示日」は技術提案書の提出要請日を記載する。